

BCH83048ONE、BCH83052、 BCH83048K5、BCH83048K33用

開発セット 添付CDの使い方

第1版2006.7.18

第5版2007.3.20 BCH83048K5、K33追加 HEWサンプル追加

第6版 1クリックでコンパイル。DOS窓を使用しないコンパイラ搭載。WindowsVista 対応。



1. CD構成

- 1 - 1 . インストール
- 1 - 2 . コンパイル
- 1 - 3 . GNUH8ホルダ
- 1 - 4 . GCC オプションの意味

2. BCH83048ONE、BCH83052 CPUボード用 サンプルプログラム

【 入門 】

- 2 - 1 . sample 1 ポートのON、OFF
- 2 - 2 . sample 2 D/A、A/D、I/O、SIOプログラムをROMで動作
- 2 - 3 . sample 3 D/A、A/D、I/O、SIOプログラムをRAMで動作
- 2 - 4 . sample 4 ITUを使用した定周期割り込みタイマ
- 2 - 5 . sample 5 ITUを使用したPWM出力
- 2 - 6 . sample 6 DMAを使用しデータメモリを連続してD/A出力する
- 2 - 7 . sample 7 自分で新たなプログラムを作る

【 演習 】

- 2 - 8 . sample 8 アセンブラ16進 10進高速変換プログラム

【 応用 】

- 3 - 1 . sample 9 有限会社ヒューマンデータ社の「USB-004-SER」
(USB-SERIAL変換基板)を使用してUSBを使用する。
- 3 - 2 . sample 10 ブルートゥースコントロール

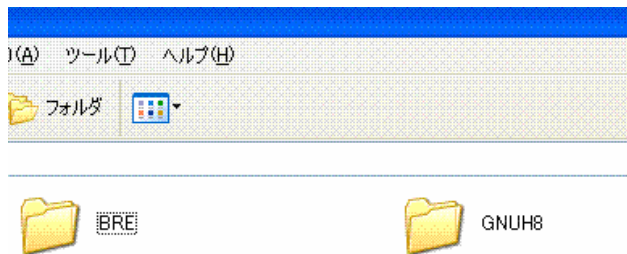
【 HEW環境用ソースファイル 】

- 4 - 1 . ルネサステクノロジ社HEW環境で動作するサンプルプログラム集 使い方
sample 1, 2, 4, 5, 6

WindowsXP、WindowsVista 対応。

1 - 1 インストール

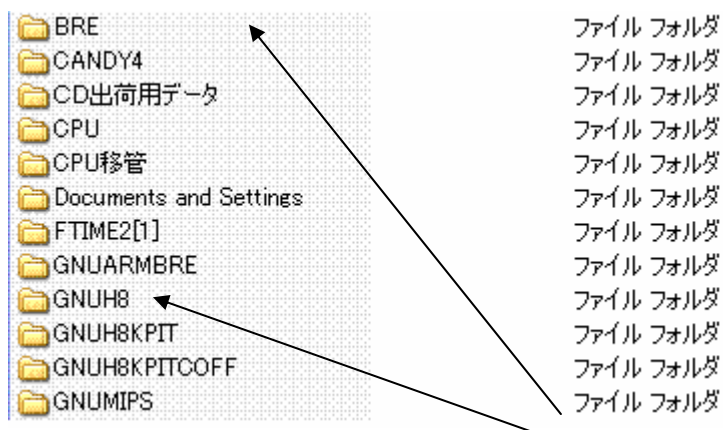
添付しているCDをパソコンのドライブに入れます。



しばらく待つと現在のCDにあるファイルが表示されます。

BRE : FROM書き込みソフト `frw3048`、`frw3052.exe`等が入っています。
GNUH8 : H8用 Cコンパイラ、サンプルソフト、各種ドキュメント

インストールはフォルダをC : にコピーするだけです。2つともコピーし、C : に移します。他の部分ではうまく動きません。



C : にGNUH8とBREが移ればOKです。

【 コンパイル準備 】

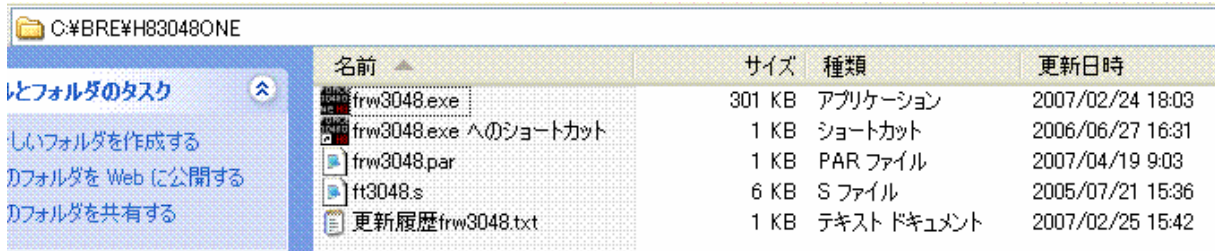
本CDに搭載されているCコンパイラはユーザーが書いたCのプログラムをコンパイルしH8マイコン用の*.motファイルを生成します。コンパイルは`compilerH8.exe`というソフトを使います。

C:¥GNUH8¥compiler にあるショートカットを表画面にドラッグ&ドロップしてください。

名前	サイズ	種類	更新日時
cmdH8.cmd	1 KB	Windows NT コマンド...	2007/08/07 10:42
cmdH8_ram.cmd	1 KB	Windows NT コマンド...	2007/08/07 10:42
cmdH8_user.cmd	1 KB	Windows NT コマンド...	2007/08/07 10:57
compile.txt	2 KB	テキストドキュメント	2007/08/07 11:20
compilerH8.exe	268 KB	アプリケーション	2007/08/07 11:06
compilerH8.exe へのショートカ...	1 KB	ショートカット	2007/08/07 11:49

同じように

C : ¥BRE¥H83048ONE、H83052 にあるショートカットを表画面に移動してください。



名前	サイズ	種類	更新日時
frw3048.exe	301 KB	アプリケーション	2007/02/24 18:03
frw3048.exe へのショートカット	1 KB	ショートカット	2006/06/27 16:31
frw3048.par	1 KB	PAR ファイル	2007/04/19 9:03
ft3048.s	6 KB	S ファイル	2005/07/21 15:36
更新履歴frw3048.txt	1 KB	テキストドキュメント	2007/02/25 15:42

これで準備は完了です。

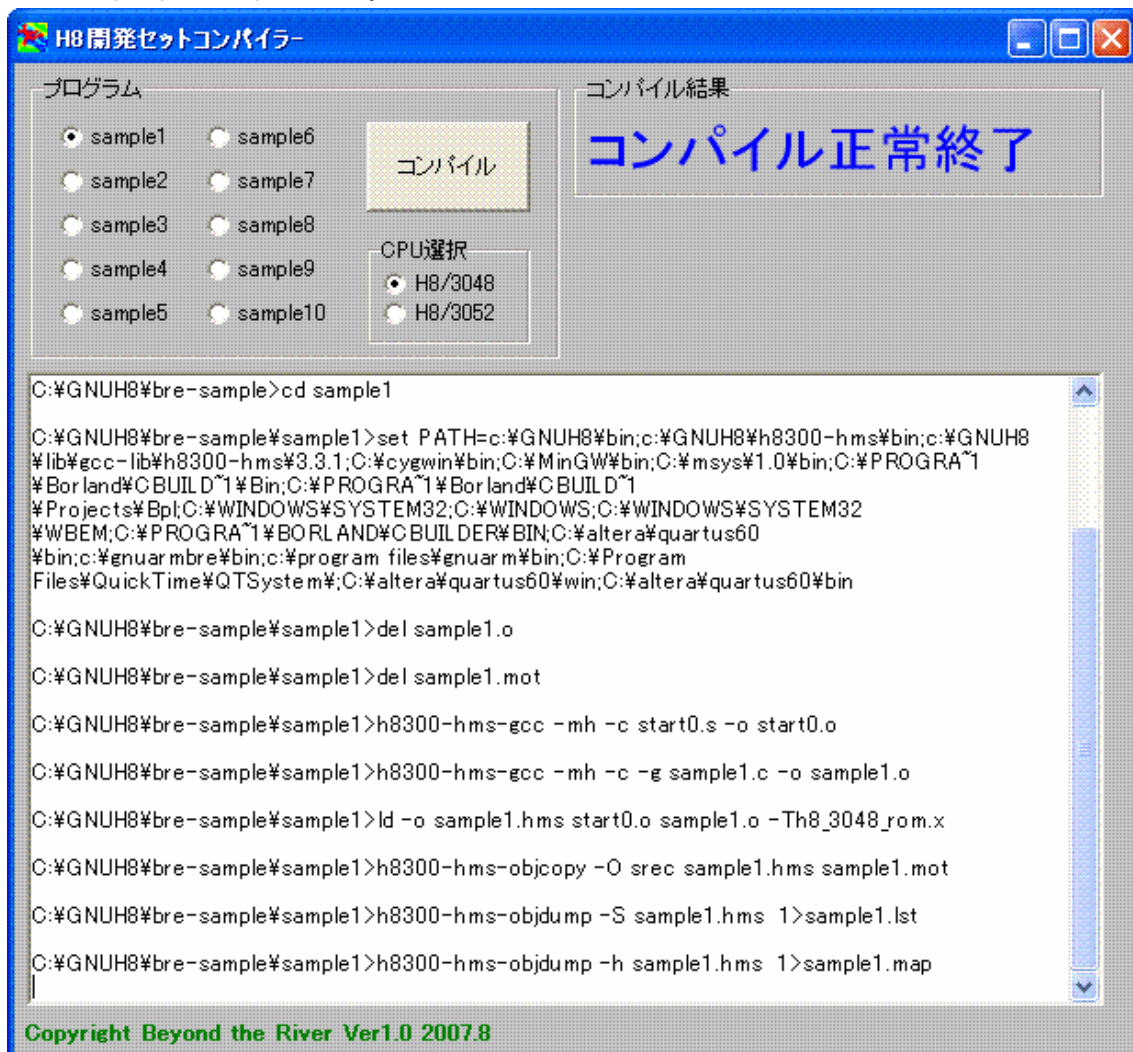
1 - 2 コンパイル

実際に sample1.c をコンパイルしてみます。

compilerH8.exe を動作させます。

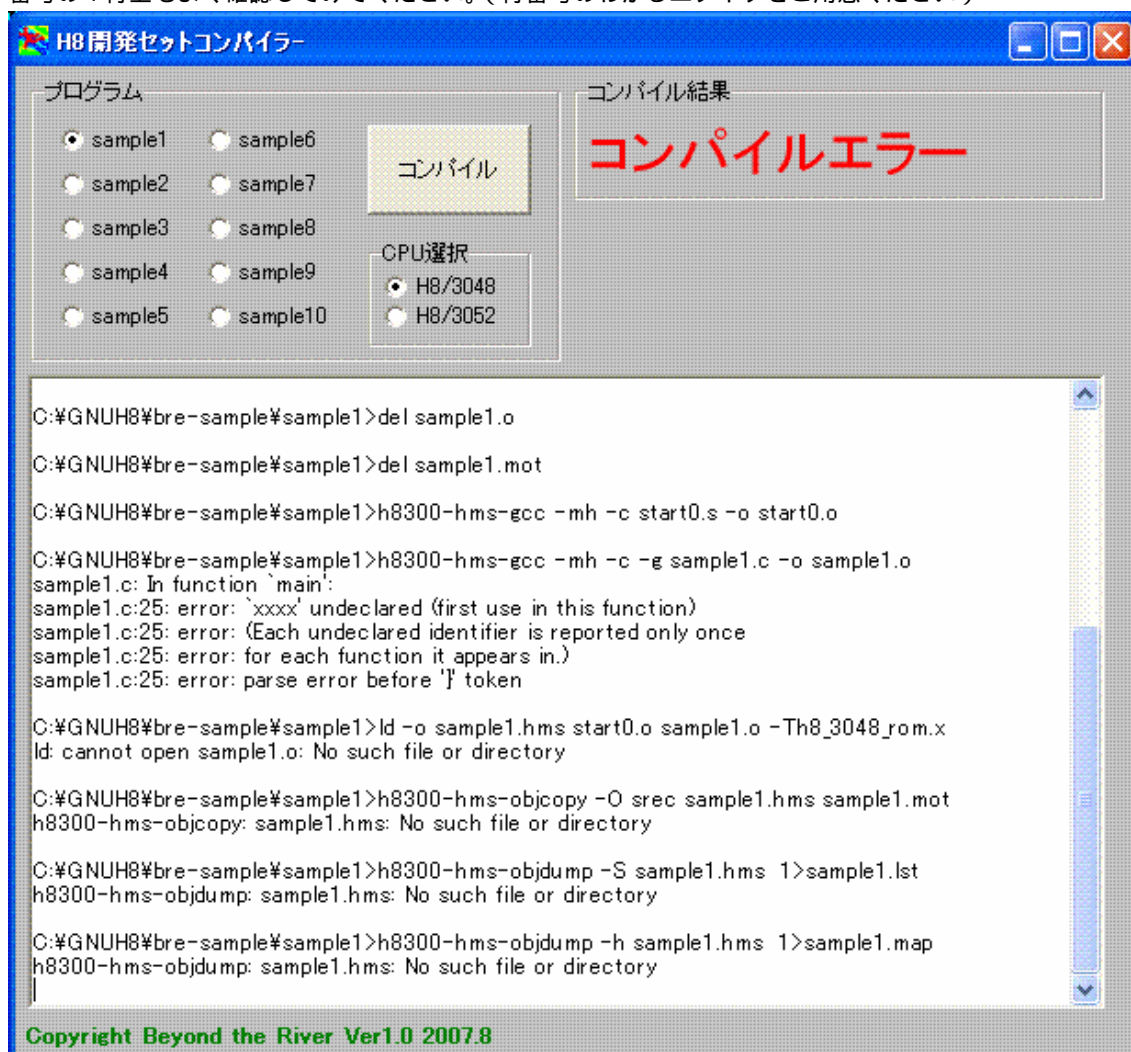
CPU 選択で H83048 または H83052 を選択します

sample1 を選択して「コンパイル」をクリック。正常に終了すれば「コンパイル結果」に「コンパイル正常終了」と表示されます。



ユーザーがエディタで修正し、例題を製作したとします。エラーがある場合、「コンパイル結果」の文字

が赤字で表示されますので、エラー行番号を参考にソースファイルを修正してください。表示されている番号の1行上もよく確認してみてください。(行番号のわかるエディタをご用意ください)



上記例では25行目にerrorがあるとコンパイラは言っています。実際のエラーは24行目です。

【 実行 】

最初にパソコンと「マイコンボード」をKケーブルまたはEケーブルで接続します。詳細は各CPUボード取扱説明書の「フラッシュROM書き込み」の項をご参照願います。

もし、パソコンにRS232Cポート(COMポート)が無ければUSB RS232C変換器を事前に用意し、インストールしておいてください。なお、安価な変換器の中にはコントロール線が正常に動作しないものがありますので、ご注意願います。弊社では以下の製品については動作を確認しております。

REX-USB60F ラトックシステム株式会社

以下略